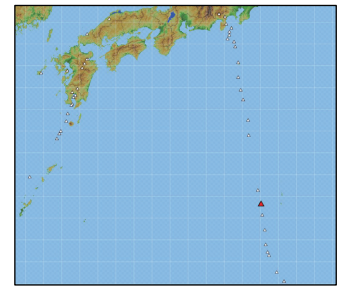


71. 海形海山 かいかたかいざん Kaikata Seamount

北緯 26° 42' 33" 東経 141° 04' 27" 水深-449m (KC 峰中央火口丘)

北緯 26° 40' 00" 東経 140° 55' 45" 水深-165m (KM 峰山頂最浅部)



概要

東京の南方約 980km、硫黄島北北西約 210km にある海山で、その基部は水深 3500m にあり、南部の海徳海山とは水深 2200m で尾根を接する。海形海山頂部には東峰(KC:頂部水深 425m)と北東-南西に連なる 3 つの峰からなる西峰列(KN-KM-KS:頂部水深は北より、424、165、627m)とがある。東峰にカルデラ地形が認められ、最大径 3km、最大水深 933m で、中央火口丘(頂部水深 449m)を有する。東峰の中央火口丘頂部で、海底熱水活動に伴う白色の変色域が確認されている。構成岩石の SiO₂ 量は 49.1~60.6 wt.% である。

地形図

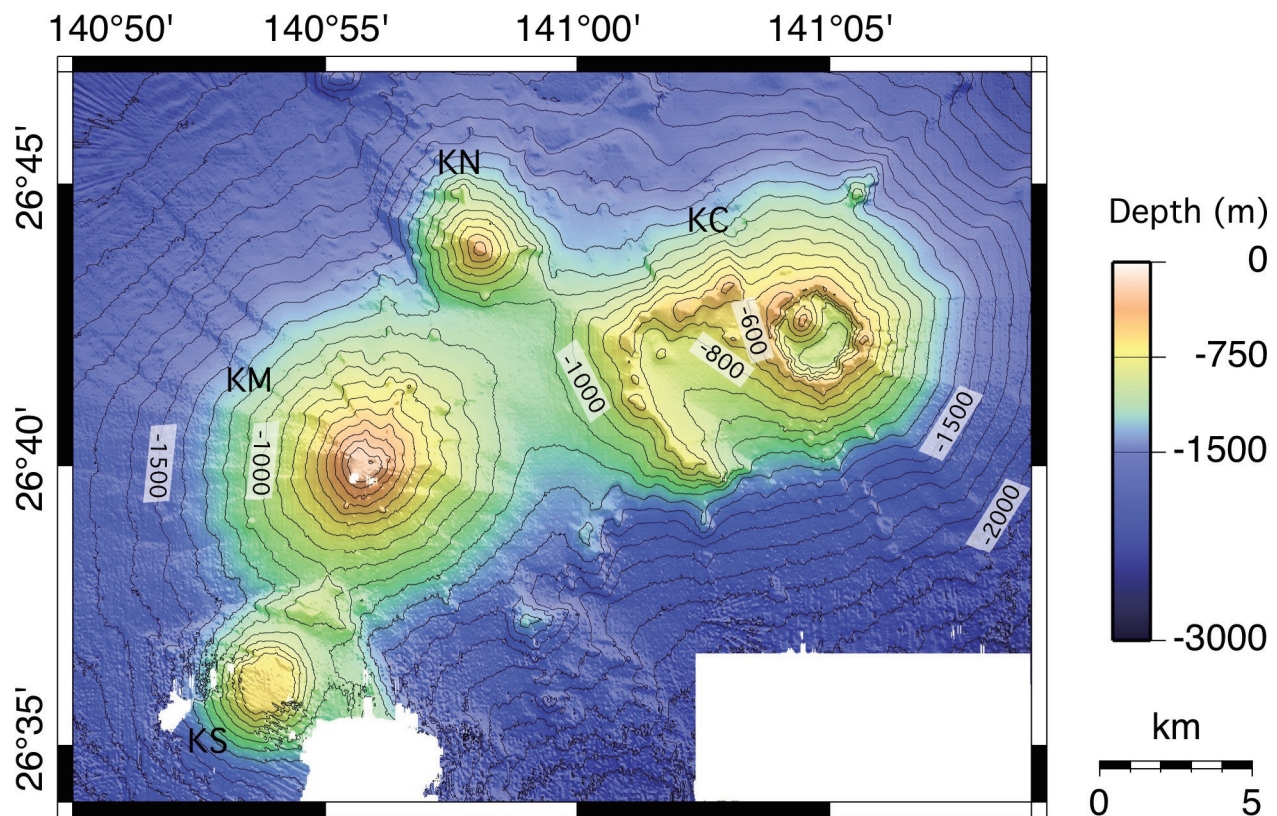


図 71-1 海形海山周辺の海底地形図 (海上保安庁海洋情報部).

地質図

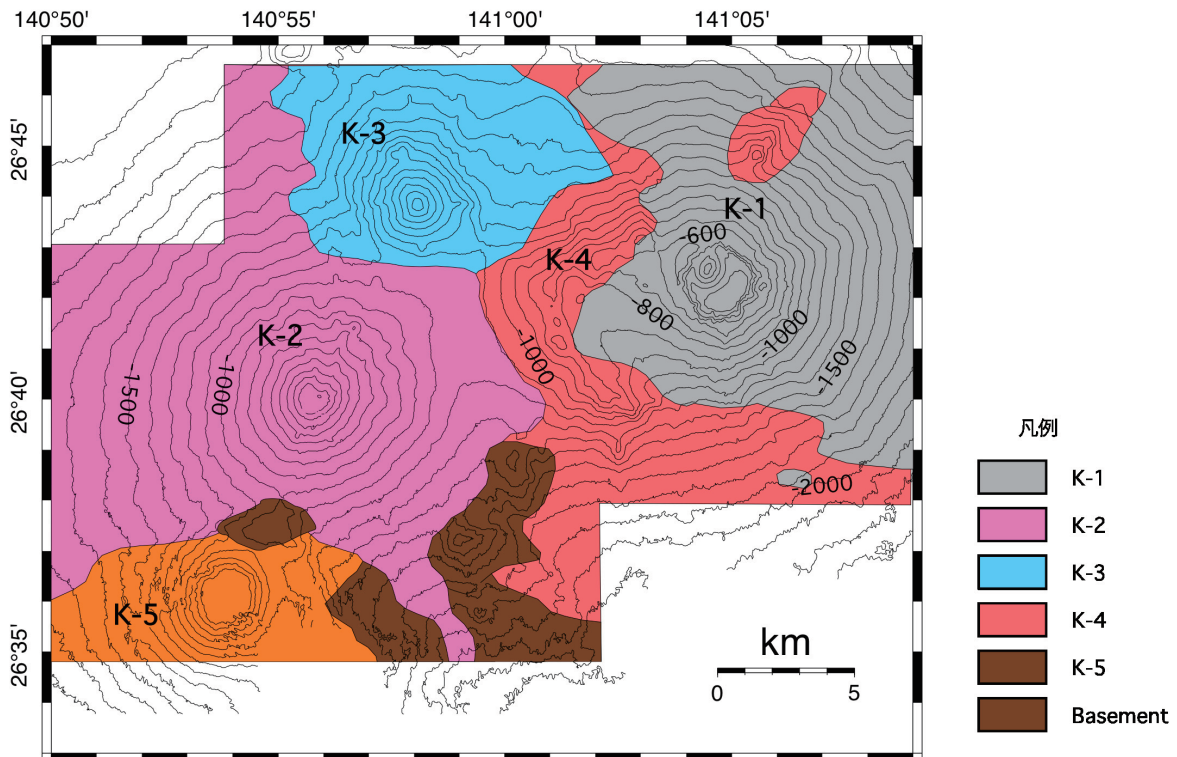


図 71-2 海形海山の地質図 (海上保安庁, 2012 を改変).

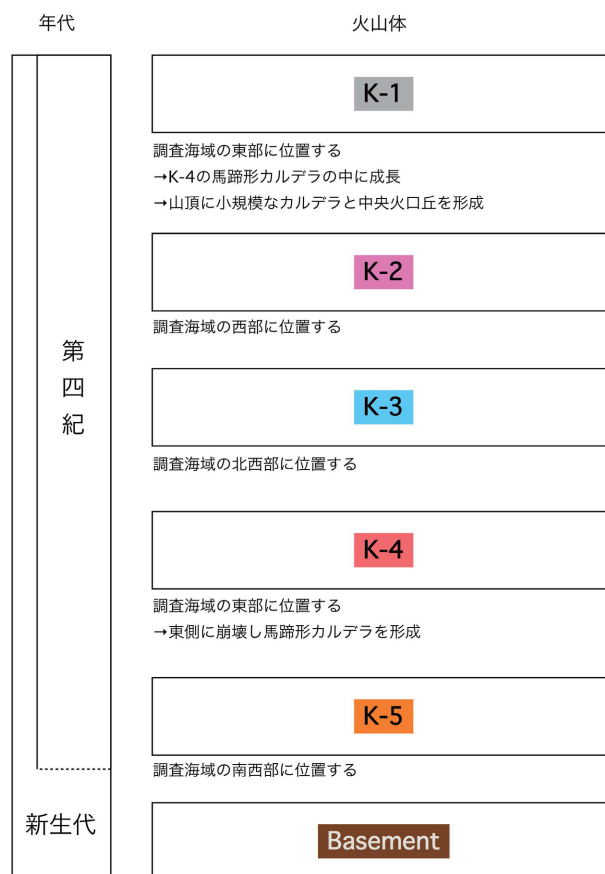


図 71-3 海形海山の地質層序 (海上保安庁, 2012).

噴火活動史

・有史以降の火山活動

記録に残る火山活動はない。

関係する主な気象官署

機関・部署名	所在地	電話番号
東京火山監視・情報センター	(気象庁本庁) 東京都千代田区大手町 1-3-4	03-3212-8341
東京管区気象台総務部業務課	東京都千代田区大手町 1-3-4	03-3212-2949

引用文献

海上保安庁 (2012) 海形海山の海底地質構造について. 火山噴火予知連絡会会報, 112, 印刷中.